ビクセン製品ご相談窓口のご案内

ビクセン製品につきましてお問い合せ、ご相談（製品の使い方、お買い物相談、修理依頼など）がございましたら、お買い上げの販売店または下記窓口までお問い合せください。なお、修理をご依頼される際は、もう一度**本書（説明およびFAQなど）をご覧になり、故障かどうかをよくご確認ください。**それでも正常に動作しない（不具合と思われる）場合は、

① 商品名　② お買い上げ日　③ 症状または内容　を具体的にご連絡ください。

1. 弊社ホームページからお問い合わせ

お問い合わせ窓口はこちらから　**http://www.vixen.co.jp/contact/index.htm**

WEBページの構成変更等によりリンク切れが起る場合は、トップページ（**http://www.vixen.co.jp/**）よりお進みください。

2. お電話によるお問い合わせ

カスタマーサポートセンター　電話番号：**04-2969-0222**（カスタマーサポートセンター専用番号）※1

受付時間：9:00～12:00・13:00～17:30※2（土・日・祝日、夏季休業、年末年始休業など弊社休業日を除く）

※1：都合によりビクセン代表電話に転送されることもございます。また、お電話によるお問合せは時間帯によってつながりにくい場合もございます。
お問い合わせにスムーズに回答させていただくためにも、"1.弊社ホームページからお問い合わせ"にてご用意しているお問い合わせメールフォームのご利用をお薦めいたします。

※2：受付時間は変更になる場合もございます。弊社ホームページなどでご確認ください。

株式会社ビクセン
〒359-0021 埼玉県 所沢市 東所沢 5-17-3
［代　　表］TEL：04-2944-4000 FAX：04-2944-4045
［ホームページ］http://www.vixen.co.jp

62キ-12-(80000136)-(M)

Vixen®

APクランプ筒受ユニット取扱説明書

はじめに

このたびは「APクランプ筒受ユニット」をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書は、「APクランプ筒受ユニット」の取扱説明書です。
ご使用にあたり、赤道儀や他モジュールなど併用する機器の説明書も併せてお読みください。

本製品はAP赤道儀シリーズにご使用いただくパーツの一つであり、単体ではご使用になれません。

◎セット内容の確認

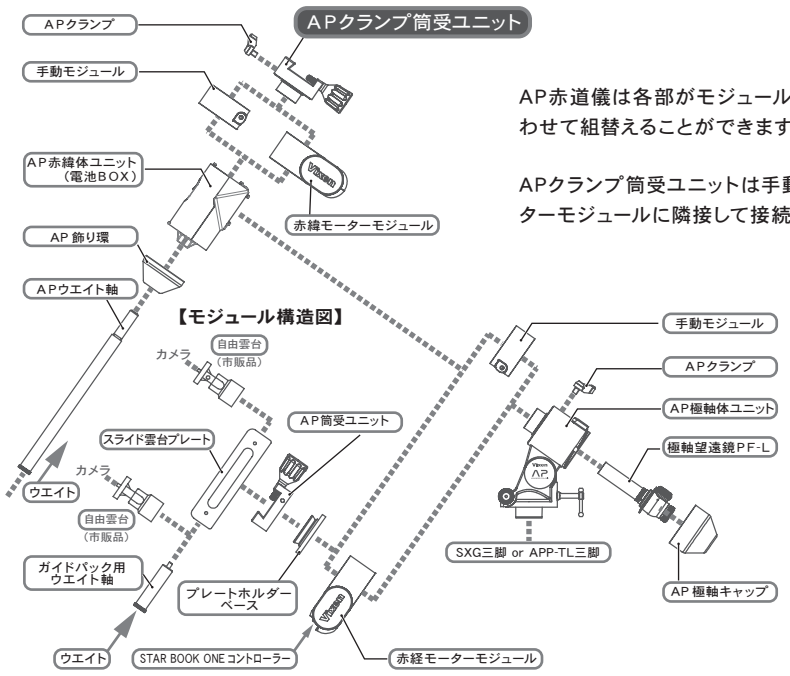
本製品には以下のものが入っています。
内容をお確かめください。

◎ APクランプ筒受ユニットのセット内容

① APクランプ筒受ユニット本体
② 六角レンチ4mm
③ APクランプ筒受ユニット取扱説明書（本書）
④ 保証書（電子機器1年、機械パーツ5年）

※セットでお買い求めの場合は内容明細が異なることがあります。

モジュールについて



AP赤道儀は各部がモジュールで構成されており、目的に合わせて組替えることができます。

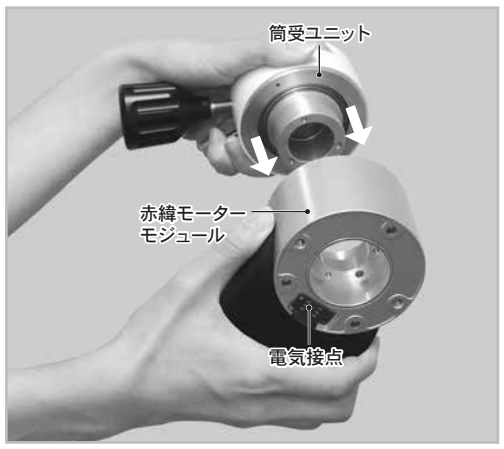
APクランプ筒受ユニットは手動モジュールまたは赤緯モーターモジュールに隣接して接続します。

組み込み方

赤緯モーターモジュールを使用し、二軸モーター仕様赤道儀（AP-D2Mマウント）を組むまでの流れ（一部）を例に説明しています。

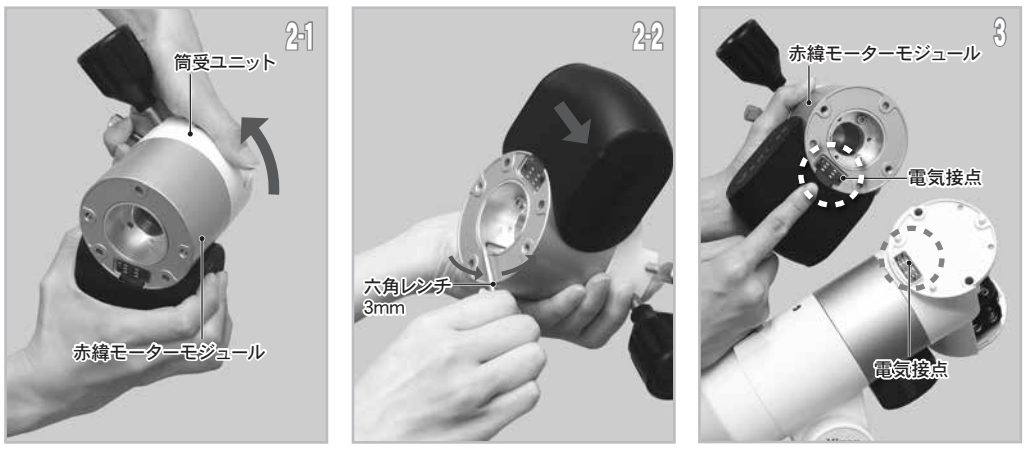
※説明の都合により、赤緯モーターモジュールなど、本製品に含まれないパーツも掲載していますがご了承ください。

1 写真を参考に、赤緯モーターモジュールの電気接点がある面を外側にして、APクランプ筒受ユニットの突起をはめ合わせます。



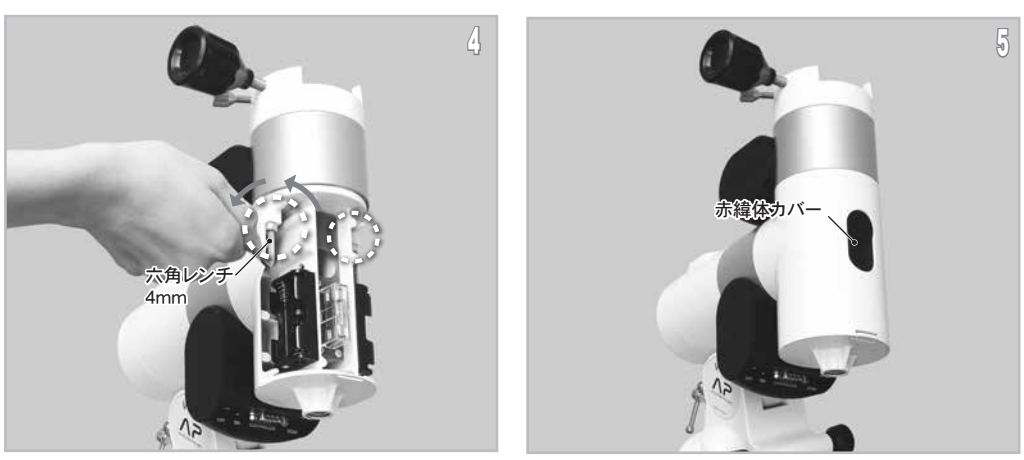
2 位置関係を調整してネジを通す穴（ネジ切りのない大きいほうの穴）の位置を合わせた後、赤緯モーターモジュールに付属の3本のネジで固定します。六角レンチ3mm（赤緯モーターモジュールまたは、赤道儀に付属）でゆるまないようにしっかり固定してください。

3 赤緯モーターモジュール（筒受を組込済）のくぼみと赤緯体の電気接点を合わせてはめ込みます。
注意：赤緯体の接点は大変デリケートですので、手を触れたり他のもので干渉したりしないように十分ご注意ください。



4 写真を参考に、赤緯モーターモジュールを落とさないように手で支えながら、赤緯体に付属のネジ2本（M5×25mm）を通して固定します。六角レンチ4mmでゆるまないようにしっかり固定してください。

5 ツメの向きに注意して赤緯体カバーを元通りに取付けて組込み完了です。



ご使用方法

鏡筒の取付け方

アタッチメントプレートまたはアタッチメントレール（スライドバー）を装備した鏡筒を取付けることができます。
※一軸モーター仕様赤道儀（AP-SMマウント）で説明しています。

① 注意：鏡筒が脱落すると大変危険です。取扱いには十分ご注意ください。

鏡筒が脱落すると大変危険です。取扱いには十分ご注意ください。
鏡筒が赤道儀から脱落すると故障の原因となるばかりでなく、ケガをする危険があります。

1 写真のように鏡筒固定ネジ、鏡筒脱落防止ネジをゆるめておきます。ゆるめ量が足りないと鏡筒取付け時に干渉して取付けできないことがありますので、十分ゆるめてください。

2 鏡筒のアタッチメントプレートを赤道儀のプレートホルダーの溝にはめ、鏡筒を手で支えながらネジをしめて固定します。

①鏡筒固定ネジ
②鏡筒脱落防止ネジ
の順番でネジをしめます※。ゆるまないようにしっかりしめ込み確実に固定してください。

※①②が逆手順になると、鏡筒がしっかり固定できないことがありますのでご注意ください。

※アタッチメントプレート側面（傾斜面部分）をネジの頭で圧迫して取付ける方式となっています。アタッチメントプレートにネジ穴はございません。

① 注意：接合面を確実に合わせて取付けてください。

不安定なままでも固定できる場合がありますが、使用中に鏡筒が脱落する可能性があり大変危険です。

鏡筒を取外す場合は、鏡筒を手で支えながら②①の順でネジをゆるめてください。

フリーストップの硬さ調整

APクランプ筒受ユニットは鏡筒を自由に手で動かし、手を離したところで止まるフリーストップ機構を装備しています。

フリーストップ機構は硬さの調整ができます。
硬さ調整ビスは次の位置にありますので、付属の六角レンチ4mmでしめ具合を調整してください。
硬さ調整ビスを回すと急激にバランスを失うことがあるため、鏡筒を手で支えながら作業してください。

仕様

◎スペック　　仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

仕様	APクランプ筒受ユニット
形式	アリミゾ式筒受・フリーストップ機構付（硬さ調整可） 鏡筒固定ネジ、鏡筒脱落防止ネジ付
ベアリング数	ボールベアリング2個
対応プレート	アタッチメントプレートWT、汎用スライドバー、スライドバーM/L、スライド雲台プレート取付可
大きさ	φ78×56mmmm（突起部を除く）
重さ	340g